

訂正 (221 ページ 9 行目 ~ 11 行目)

下記の下線部を追加する .

補題 5.15 $M \rightarrow_{cbv} M'$ とし、 M の型は A である とする . このとき ,

$$R_A(M) \leftrightarrow R_A(M')$$

が成り立つ .

訂正 (223 ページ 10 行目 ~ 21 行目)

下記の文に置き換える .

$x_n^{A_n} := N_n$) が成り立つ . (iii) $M = \lambda x^C . M_0$ の場合 . $A = C \rightarrow D$ を満たす型 D が存在して , M_0 の型を D と置くことができる . 項 L を $R_C(L)$ を満たす任意の 項とする . $R_C(L)$ の定義から L は停止する , すなわち , $L \rightarrow_{cbv}^* V_L$ をみたす値 V_L が存在する . 補題 5.15 を何回か適用すると , $R_C(V_L)$ をえる . 帰納法の仮定より ,

$$R_D(M_0[x_1^{A_1} := N_1, \dots, x_n^{A_n} := N_n, x := V_L])$$

また ,

$$\begin{aligned} & ((\lambda x^C . M_0)[x_1^{A_1} := N_1, \dots, x_n^{A_n} := N_n]) V_L \\ & \rightarrow_{cbv} M_0[x_1^{A_1} := N_1, \dots, x_n^{A_n} := N_n, x := V_L] \end{aligned}$$

であるから , 補題 5.15 より ,

$$R_D(((\lambda x^C . M_0)[x_1^{A_1} := N_1, \dots, x_n^{A_n} := N_n]) V_L)$$

が成り立つ . $L \rightarrow_{cbv}^* V_L$ より ,

$$\begin{aligned} & ((\lambda x^C . M_0)[x_1^{A_1} := N_1, \dots, x_n^{A_n} := N_n]) L \\ & \rightarrow_{cbv}^* ((\lambda x^C . M_0)[x_1^{A_1} := N_1, \dots, x_n^{A_n} := N_n]) V_L \end{aligned}$$

である . サブジェクト・リダクション定理により , この値呼び簡約列の項はすべて型 D である . 補題 5.15 を何回か適用すると ,

$$R_D(((\lambda x^C . M_0)[x_1^{A_1} := N_1, \dots, x_n^{A_n} := N_n]) L)$$

が成り立つ . したがって , 本補題は示された .